



道徳教育研究推進モデル校研究経過報告

令和3年11月12日(金)

加須市立加須西中学校



本校について





2学期当初

オンライン授業の様子

学校生活再開

生徒の実態



○落ち着いた学校生活を送っている。

○学校アンケートによると...

「ものごとをやり遂げてうれしかったことがある」 93.1%

→ 行事成功に向け、**努力する生徒が多い。**

●県学力学習状況調査質問紙によると...

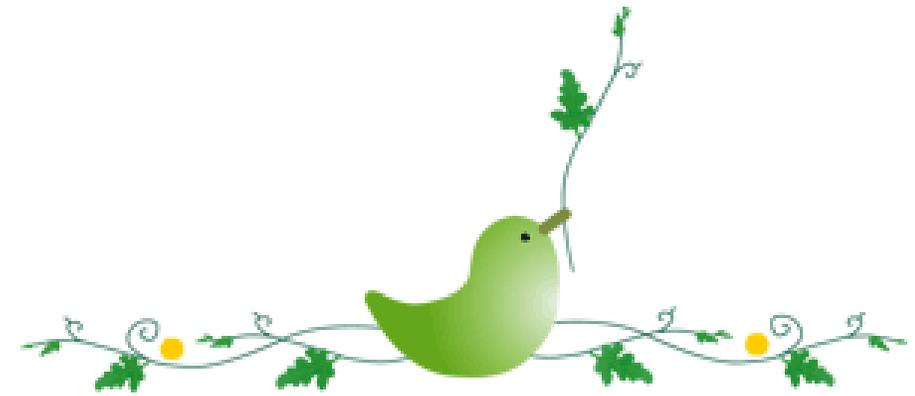
「自分にはよいところがあると思う・どちらかといえばそう思う」 67.0%

→ 県平均と比べ、6.9%低い。

→ 活躍の場面をつくり、**自己肯定感の向上**につなげたい。



<研究主題>



**「豊かな心を育み，よりよく生きようとする生徒の育成」
～考え，議論する，道徳科の授業実践を要として～**



研究の仮説

【仮説1】

- ・全教職員の参画。
- ・道徳科の授業を要として、全教科で「自分の考えをもち、他者との話し合い活動」をおこなう。



多面的, 多角的
な考え

【仮説2】

- ・集団の中で個のよさを見つけて伸ばす。



自己肯定感の
向上

目指す生徒像

○ **自己肯定感** をもち、
自己を向上させようとする生徒

○ 他者の気持ちや立場を理解し、
思いやりの心をもって人と接する生徒



本校の研究について

学校教育目標

「知」「徳」「体」の確かな育成

○本気で学ぶ生徒

○友達を尊重し仲良くする生徒

○自ら心身を鍛える生徒

研究主題

「豊かな心を育み、よりよく生きようとする生徒の育成」

～考え、議論する、道徳科の授業実践を要として～

授業研究部

目指す生徒像

調査研究部

環境整備部

生徒の実態



研究の取組



I 小・中ともに道徳教育を推進する学びの協働体

- 「西中学校区小中一貫教育事業」の実施
 - 相互の授業参観や交流
 - 研修会の参加
 - 掲示物のアイデア共有
- など



学びの連続性

「西中学校区小中一貫教育事業」の実施

「豊かな心と 夢や希望をもって 生き生きと活動する子ども」を育てるために...



- ・学力向上部会
- ・生徒指導部会
- ・行事交流部会
- ・家庭・地域連携部会

教科部会

年間2回の合同会議

学びの連続性

児童生徒の成長段階に合わせた教育の推進

目指す児童生徒像
「自己肯定感」「思いやり」

教材吟味表(例)



主眼名 本宮の徳司	教材名 「最後のおくり物」
<p>【主人公の背景・状況】</p> <p>お金がなく、貧乏病所に通っていたロペーは、見知らぬ病所から贈り物が届いた。ロペーは、その送り主が病所の「ヨルグ」にいたんだことに気付く。</p>	<p>【登場人物】</p> <p>ロペー ヨルグの「ヨルグ」</p>
<p>【登場人物の性格・特徴】</p> <p>ロペーは、空想、贈り物が届かなくとも、</p>	<p>【登場人物の性格・特徴】</p> <p>ヨルグは、</p>

小・中ともに道德教育を推進する学びの協働体。



思いやりのある子。



目指す児童生徒像。
自分を大切に、他人を大切に思いやりをもって共に生きる児童生徒。

中学生。
温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し思いやりの心をもって行動する。



小学校5・6年生。
だれに対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にする。

小学校3・4年生。
相手のことを思いやり、進んで親切にする。

小学校1・2年生。
幼い人や高齢者など身近にいる人に温かい心で接し、親切にする。



研究の取組

Ⅱ 各部会の取組

授業研究部

- ・「考え、議論する」道徳科の授業における指導方法の研究
- ・タブレット端末を活用した授業研究など

目指す生徒像

調査研究部

- ・教職員，保護者，生徒の実態把握調査と変容の分析
- ・Hyper-QUを活用した客観的な集団把握など

環境整備部

- ・校内環境作りの推進
- ・道徳科と関連させ学校行事への取組や振り返り
- ・道徳科通信の発行など



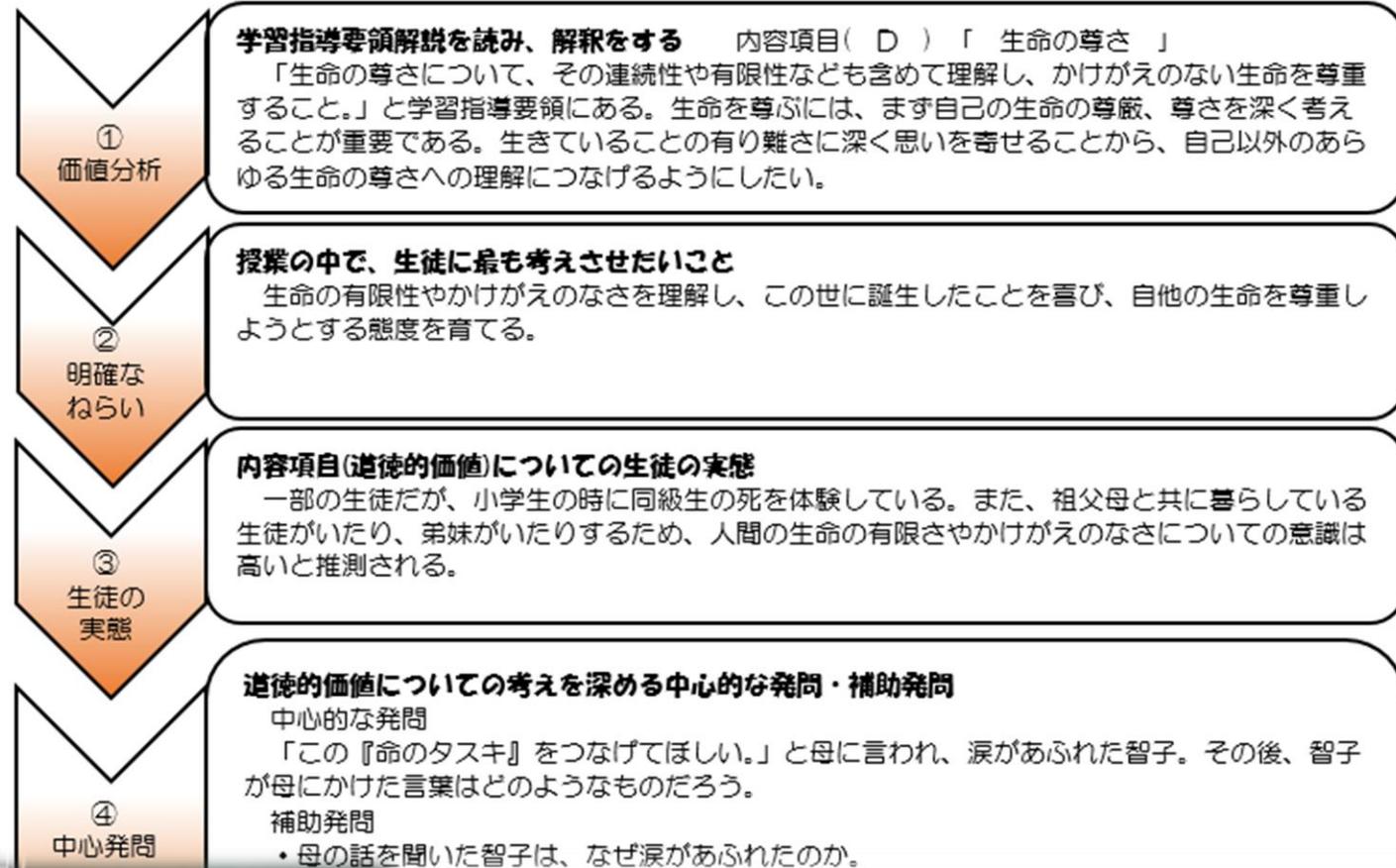
① 授業研究部

教材吟味・指導案検討

「道徳科授業 プランニングシート」の活用

- ① 価値分析
- ② 明確なねらい
- ③ 生徒の実態
- ④ 中心発問
- ⑤ その他の発問
- ⑥ 授業の工夫点
- ⑦ 評価の視点

加須市立加須西中学校 道徳科授業プランニングシート 3年 3組 教材名「命のタスキ(彩の国の道徳)」



① 授業研究部

ローテーション授業の実施

道徳科 ローテーション授業について

2021.9.1 現在

	行事予定	1組	TT	2組	写真	3組	備考		教材名	
9/13(月)	月③④⑤ ふれあいデー	下山◇	向後	清水○	荒井	榊原△	担任			
9/17(金)	金①②③④+持後 校内授業研究会			榊原△			担任	清○	人のフリみて	
9/27(月)	校内研修 ふれあいデー	清水○	向後	榊原	荒井	下山◇	担任	榊△	挫折から希望へ	
10/4(月)		榊原△	向後	下山◇	荒井	清水○	担任	下◇	奈良筆に生きる	
10/11(月)	校内研修 安全点検	学年集会							清●	あったほうがいい？
10/18(月)	調査書等作成委員会							榊▲	茨城にふれた平和△の願い	
10/20(水)	水①②③④+持後									
10/26(火)	火①+月曜授業									
11/1(月)	Ⅱ期時間割開始									
11/15(月)	校内研修									
11/22(月)	運営委員会 ふれあいデー									

<メリット>

生徒にとって...

- ・ いろいろな価値観に触れることができる。

教師にとって...

- ・ 生徒の新たな一面を知ることができる。
- ・ 相互に授業を参観し、授業展開の工夫について学ぶ機会となる。

<課題>

- ・ 年間を通した生徒の変容の把握についての連携。

① 授業研究部

1人1台の端末活用事例集



発問の記録

生徒の反応○△

教材名		[五月の風ーカナー]		主題名		[自分を信じて]	
内容項目		A-(1) 自主, 自律, 自由と責任					
昨年度		友人に誠実に接するとは。					△
		カナと自分の伝え方の違いを考えてみよう。					△
		カナは, 次の日, ミカに会って何を伝えようと考えたか。					○
今年度	1組	自分で決めたことをやり切るために, どんなことを大切にすればいいだろう。					△
	2組	自分の考えや思いを伝えるとき, 大切なことは何だろう。					○
	3組	カナはミカにどのように話しかけたでしょうか。 (前半部分の範読後)					○
教材名		[五月の風ーミカー]		主題名		[本当の友達]	
内容項目		B-(8) 友情, 信頼					
昨年度		友人の信頼に応えるために必要なことは。					△
		この出来事で, 一番の問題点は何だろう。					○

使用したアプリ	活用内容	教諭名
オクリンク	主人公の立場から, ロールレタリングを行い, 提出 → 全体共有	
タブレット本体	開く…主人公に賛成 閉じる…登場人物 A に賛成 で分類 → 意図的に指名	
ムーブノート	二者択一の発問で, それぞれの立場から意見を書かせ, 集計 ＜導入＞自由に意見を書かせ, キーワード集計を行う。 例: 「あなたは, 何を持っていたら自信がもてますか？」	

発問の蓄積

① 授業研究部

教室内 道徳コーナー

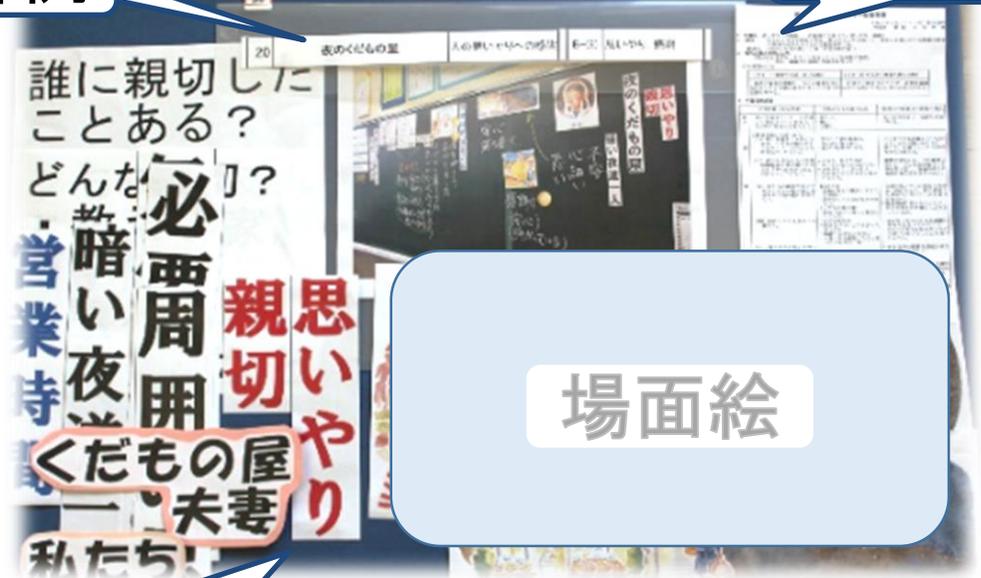


教材文の一部

職員室前 道徳コーナー

板書例

指導案



場面絵

発問短冊

教材名

教材順のラベル



1年
道徳セット

② 調査研究部

生徒の実態把握調査と変容の分析

「自分を見つめてみよう」アンケート

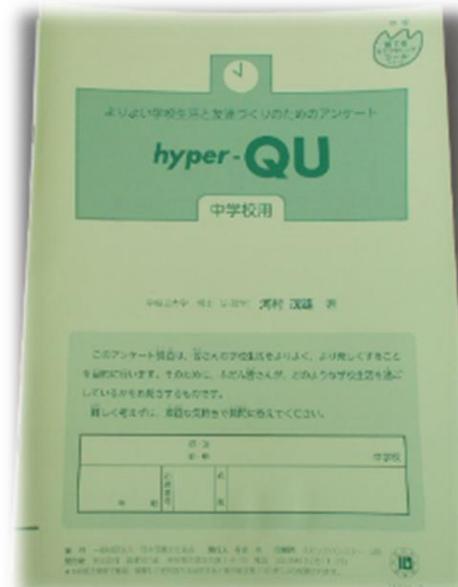
項目	とてもそう思う	そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
1 自分にはよいところがある。				
2 自分は人の役に立っている。				
3 自分には様々な可能性がある。				
4 ものごとをやり遂げて嬉しかったことがある。				
5 周りの人は、自分のことを認めてくれている。				
6 自分は他の人の立場や気持ちを考えることができる。				
7 自分は他の人と協力することができる。				
8 自分は自分の周りの人に感謝している。				
9 自分は他の人に対して、優しい言葉遣いができている。				
10 自分は学校生活や学校行事について話し合い、課題解決方法を決めている。				

自己肯定感に関する質問

思いやりに関する質問

話し合い活動に関する質問

行事に向けた学級討議



Hyper-QUの活用

② 調査研究部

「自分をみつめてアンケート」から見えてきたこと...(6月実施)

	1学年			2学年			3学年		
	自己肯定感	思いやり	話し合い	自己肯定感	思いやり	話し合い	自己肯定感	思いやり	話し合い
+	やり遂げて嬉しかった経験	他人との協力・周囲への感謝の気持ち	話し合いで努力すべきことを決め実行する	やり遂げて嬉しかった経験	他人との協力・周囲への感謝の気持ち	項目11以外は同じ割合	やり遂げて嬉しかった経験	他人との協力・周囲への感謝の気持ち	全項目8割後半と割合が高い。
-	・役に立っている ・可能性がある	・他の人の立場や気持ちを考える	・自分の考えを伝える	・役に立っている ・可能性がある	・優しい言葉遣い	・自分の考えを伝える	・役に立っている ・可能性がある	・優しい言葉遣い	・話し合いで努力すべきことを決め実行する
その他	・「X」の割合を見ると「思いやり」より「自己肯定感」のほうが全体的に低い。			・「X」の割合を見ると「思いやり」より「自己肯定感」のほうが全体的に低い。			・周囲から認められていると、捉えている生徒の割合が非常に低い。		
今後の取組	教育活動を通し、集団の中で自分が「役に立っている」という気づきをもたせたい。			全ての教育活動を通して、優しい言葉遣いの必要性を意識させる。			全ての教育活動において集団の中で、自分が「役に立っている」という意識をもたせたい。		

【1年】

課題

「役に立っている」

「自分には可能性がある」

→ 集団の中で活躍の場を！

【2年】

課題

「優しい言葉遣い」

「自分には可能性がある」

→ 他者の気持ちを考えた言動！

【3年】

課題

「周囲に認められている」

「役に立っている」

→ 最高学年として輝ける場を！

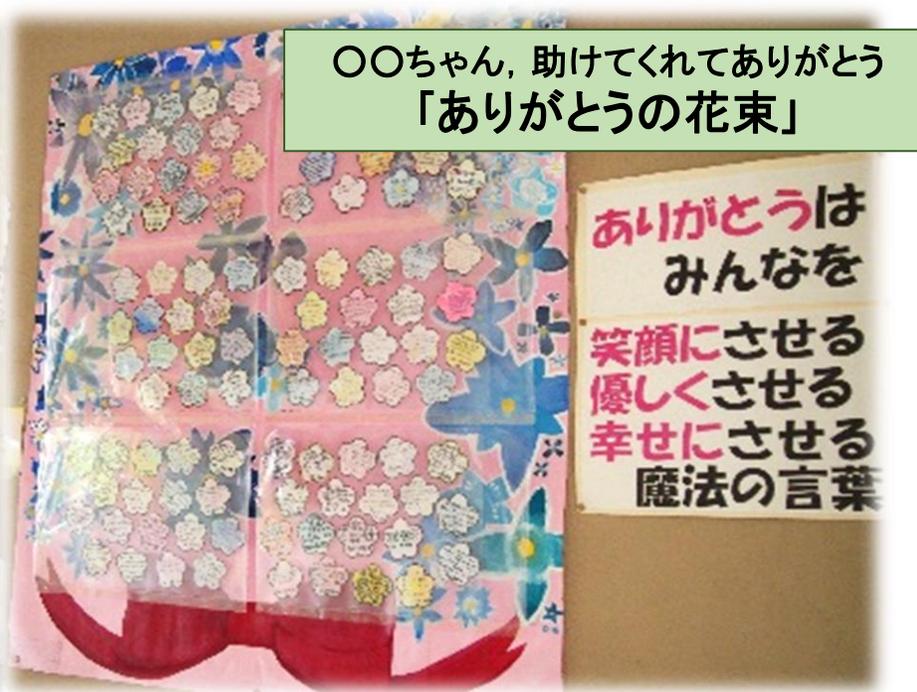
③ 環境整備部

<校内掲示>

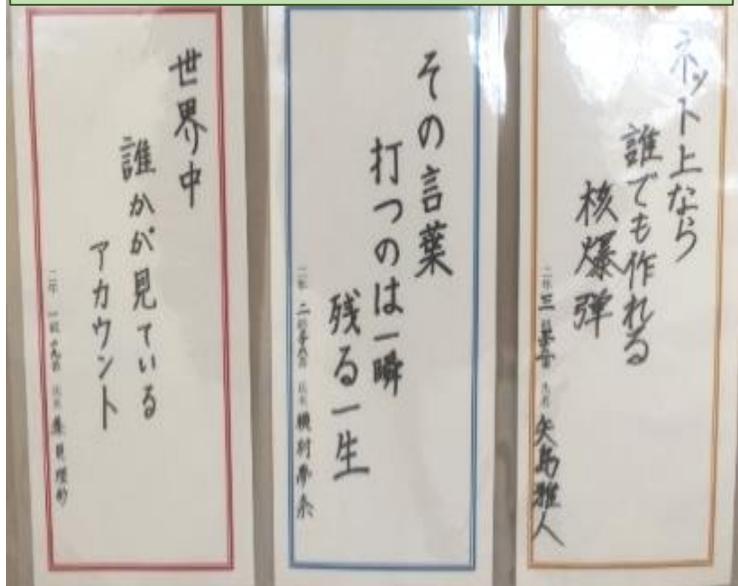
日々の生活を写真に...
「1年間の成長記録」



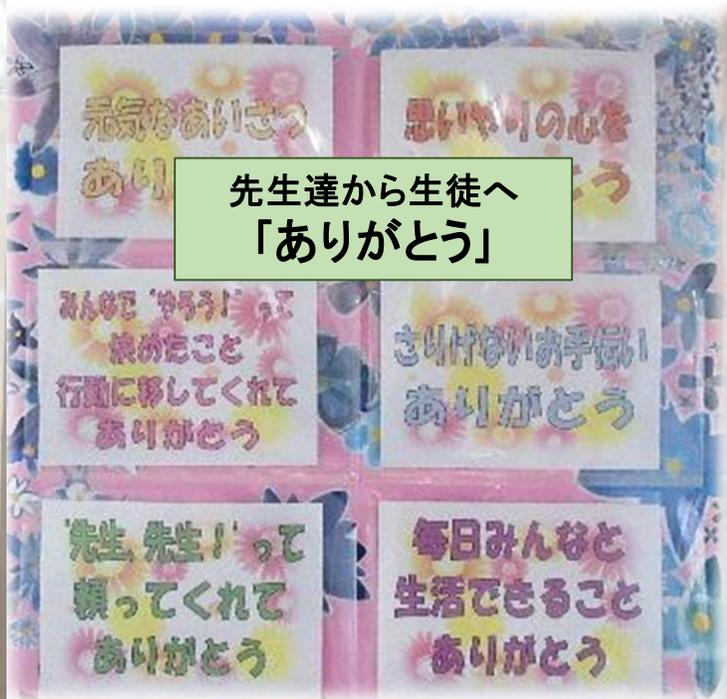
〇〇ちゃん, 助けてくれてありがとう
「ありがとうの花束」



情報通信の安心・安全な利用を呼びかける
「標語掲示」



先生達から生徒へ
「ありがとう」



こんな学校生活を送ってほしい
「保護者の願い」



③ 環境整備部

<校内掲示>

ほっとする空間に...
「トイレの掲示物」

自分のこと
「頑固」でいやだと思っ
ているあなた
「自分を持っている素
敵な人」と
みんなは思っていますよ




今日は
「おはよう」と
言ってくれてありがとう



<道徳科通信の発行>

加須西中学校 道徳通信

令和3年 7月20日(火)

令和3年度が始まり約4か月が過ぎました。1学期は、学校総合体育大会や期末テストなどがありました。どの学年の生徒も文武両道で頑張っていたのが印象的です。

さて、今年度も「道徳科の時間ってどんなことを学習しているの?」「学校で行っている道徳的な取組ってどんなものがあるの?」などの疑問にお答えできるよう、各学年の取組を学級・学年を超えて紹介する「道徳科通信」を発行します。そして「道徳科通信」を通して学校とご家庭の連携を図りながら、生徒たちの道徳性を育てていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

●今、考えるべき課題

道徳科の授業では、国から無償で配布された教科書を使用しています。今回は、その中で扱っている、現代社会における諸問題について紹介します。

SNSなどをうまく活用しよう

「いじめ」の被害と心の状況

A いじめられている生徒 (68%) B いじめている生徒 (38%)

♡おうちコミュニケーションを大切にしませんか?♡

令和2年度に実施した、「心の健康アンケート」によると、加須西中学校には、平日に家の人と話す時間が30分未満の生徒が約40%いることがわかりました。

みなさんの家庭では、普段の会話でどのようなことが話題になりますか。部活動のこと、授業のこと、友達のこと…。いつもより時間に余裕があり、家にいる時間が増えるこの夏休みを利用し、積極的に家族との

5 平日、家の人とどのくらい話しますか



学年	話し合い	30分未満	30分以上1時間未満	1時間以上2時間未満	2時間以上
1年生	1.7	17.4	23.1	16.5	23.1
2年生	21.8	16.8	21.8	18.8	20.8
3年生	0.9	25.7	21.1	23.9	17.4
全校	0.9	21.5	20.5	20.5	19.9

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

話し合い 30分未満 30分以上1時間未満 1時間以上2時間未満 2時間以上

「夏休み、おうちコミュニケーションを大切にしませんか?」
→ **家族との会話のきっかけづくり!**

研究のまとめに向けて

- 蓄積した**多くのデータ**を活用
→**道徳科の授業の工夫・改善**へ
- 教職員・保護者・生徒アンケートの実施
→**変容の把握と新たな課題の発見**へ
- 校内研修の継続**
→**各部会の取組のより一層の充実**へ

研究のまとめに向けて



↑ 研究授業の指導案 拡大掲示

教員だけでなく、生徒が立ち止まってみる様子も見られる。

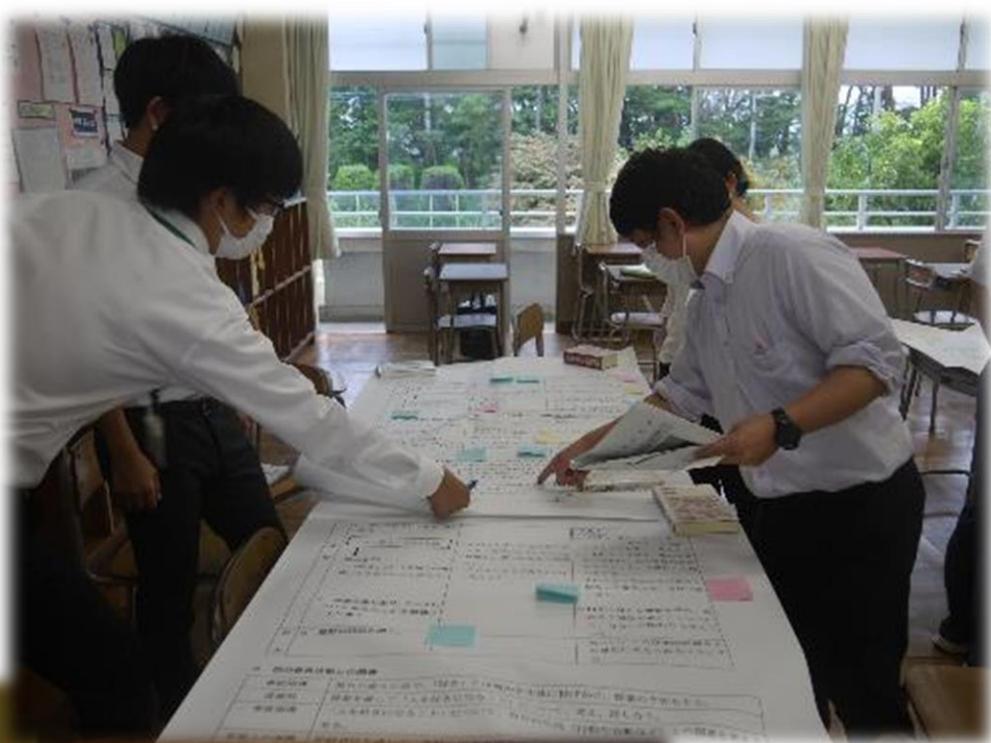
→ 校内研修会

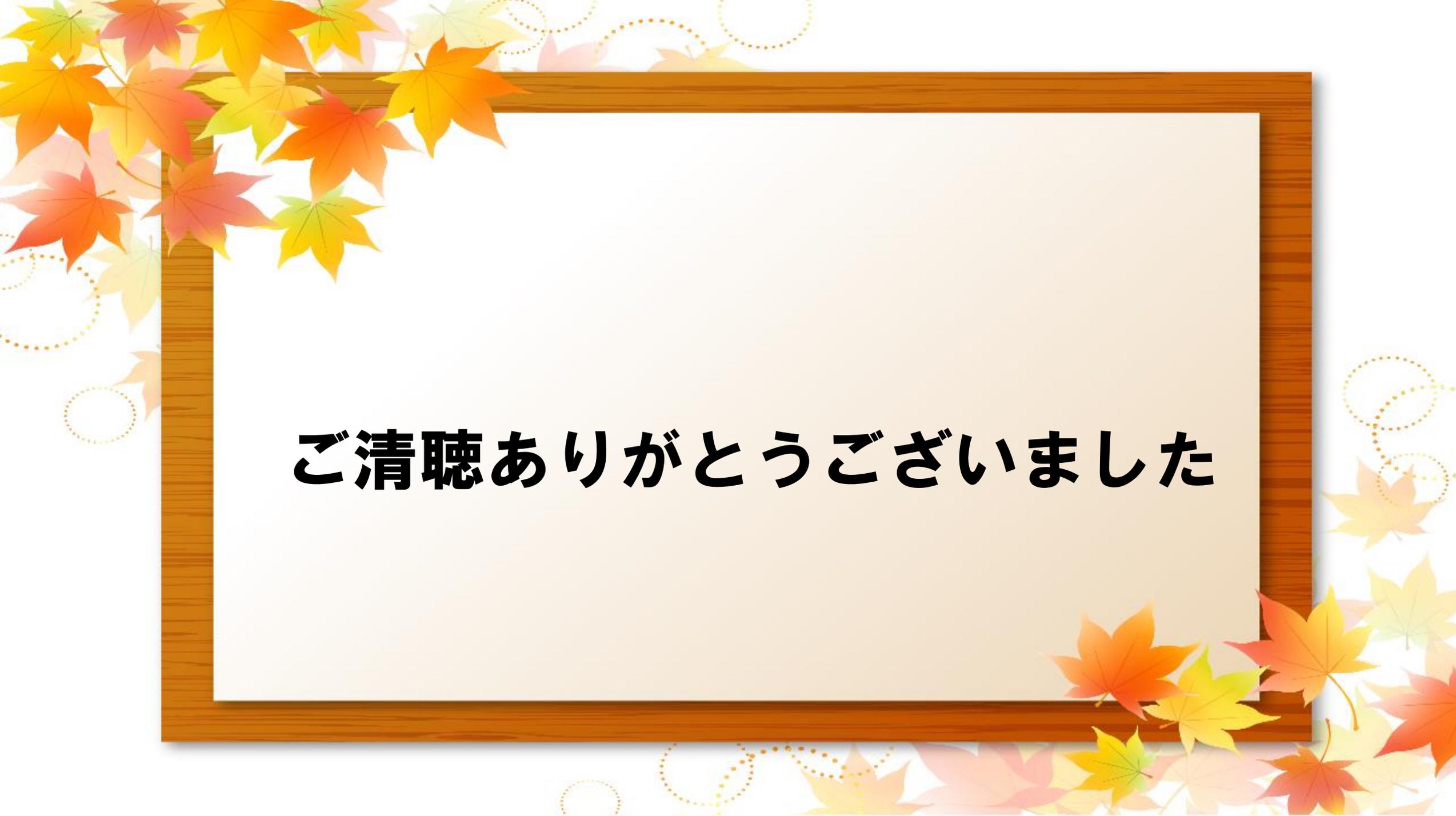
講話「考え、議論する道徳科の授業を創る」

→ 研究授業後の研究協議

「よかった点」「改善点」

「研究主題に関する点」を付箋に書き込む。



The image features a central white rectangular area enclosed by a thick, dark brown wooden frame. The background is white and decorated with autumn-themed elements: colorful maple leaves in shades of yellow, orange, and red are scattered around the frame, particularly concentrated in the top-left and bottom-right corners. Faint, dotted lines form decorative swirls and circles in the background. The text is centered within the white area.

ご清聴ありがとうございました